

2022 年3月 18 日

アフリカ輸出入銀行向け資金融資について

～アフリカにおける新型コロナウイルスワクチン供給等の医療プロジェクトを支援～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、アフリカ輸出入銀行向け融資を裏付けとするリパッケージ商品¹へ約 30 億円の投資を決定しましたので、お知らせいたします。

本件の裏付けとなるアフリカ輸出入銀行向け融資は、日本政府 100%出資の輸出信用機関である株式会社日本貿易保険(NEXI)による保険が付保されていることから、高い信用力を有しています。

アフリカ輸出入銀行は、アフリカ域内外における貿易促進等を目的として、域内政府や域内外の金融機関等の支援により 1993 年に設立された多国籍開発金融機関であり、現在 51 か国が加盟しています。貿易金融や各種ファイナンス、保証プログラム等の金融サービスの提供等を通じて、加盟国の輸出入促進を図っています。

アフリカ輸出入銀行では、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けたアフリカ諸国の政府・中央銀行・民間企業の資金繰り等を支援するために、2020 年3月に総額 30 億米ドル規模の支援プログラム(Pandemic Trade Impact Mitigation Facility)を立ち上げるなど、新型コロナウイルス感染症に対する支援活動に取り組んでいます。

本件によって調達された資金は、支援が急務とされている新型コロナウイルスワクチンの調達・供給支援等のアフリカ諸国における医療・医薬関連のプロジェクトに充てられます。当社は本件への投資を通じて、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けたアフリカ諸国への支援を目的とするアフリカ輸出入銀行の取組みを資金面からサポートします。

当社は、今後も引き続き運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG 投資に積極的に取り組んでいきます。

【本件の概要】

原債務者	アフリカ輸出入銀行(Moody's 格付:Baa1、Fitch 格付:BBB-)
調達総額	207 百万米ドル(約 240 億円)
期間	10 年
アレンジャー	株式会社三菱 UFJ 銀行
原債権の資金用途	アフリカ大陸における、新型コロナウイルスワクチン及び健康・医療分野の開発・調達を支援するための転貸資金

¹ 既に発行されている有価証券等を担保として、その有価証券等のキャッシュフローを組み替えて組成された商品